

下妻市庁舎等建設基本構想 概要版

庁舎等建設検討の背景

本庁舎と千代川庁舎、市民文化会館については、老朽化の進行や耐震性能不足、バリアフリーへの対応など、多くの問題を抱えています。そのため、「下妻市公共施設再配置計画【期】」(平成28年度策定)において、老朽化した市庁舎の建替えにあわせて、市民文化会館や公民館、保健センターなどの周辺施設を集約化・複合化することで、公共施設保有量を削減することによる将来負担の軽減や、都市拠点の再編を目指す位置づけています。

このことを受け、市庁舎建設に向けて、庁内組織である「下妻市庁舎建設推進本部」(平成28年8月設置)での検討のほか、市民の意見を反映させるために、「下妻市役所の庁舎に関する市民アンケート」(平成29年7月実施)や、学識経験者や市議会議員、市内各種団体の代表者、公募市民など20名から構成される「下妻市庁舎建設検討市民会議」(平成29年7月設置)による検討を行い、基本構想を取りまとめました。

対象施設と現状

対象の庁舎は5棟、複合関連施設は3棟あり、その多くは老朽化が進行しています。



本庁舎



千代川庁舎

建築物名称	建築年	経過年数	延床面積 (m ²)	構造	階数
庁舎等			8,342.83		
本庁舎	S44	48	4,009.14	RC造	3
第二庁舎	H8	21	1,385.88	S造	3
庁舎東棟	H8	21	257.25	S造	2
千代川庁舎	S53	39	2,187.95	RC造	2
千代川庁舎南棟	S60	32	502.61	RC造	1
複合関連施設			5,557.30		
市民文化会館	S51	41	2,819.61	RC造	3
下妻公民館	S54	38	1,825.63	RC造	2
保健センター	S59	33	912.06	RC造他	1

網掛けは旧耐震基準の建物

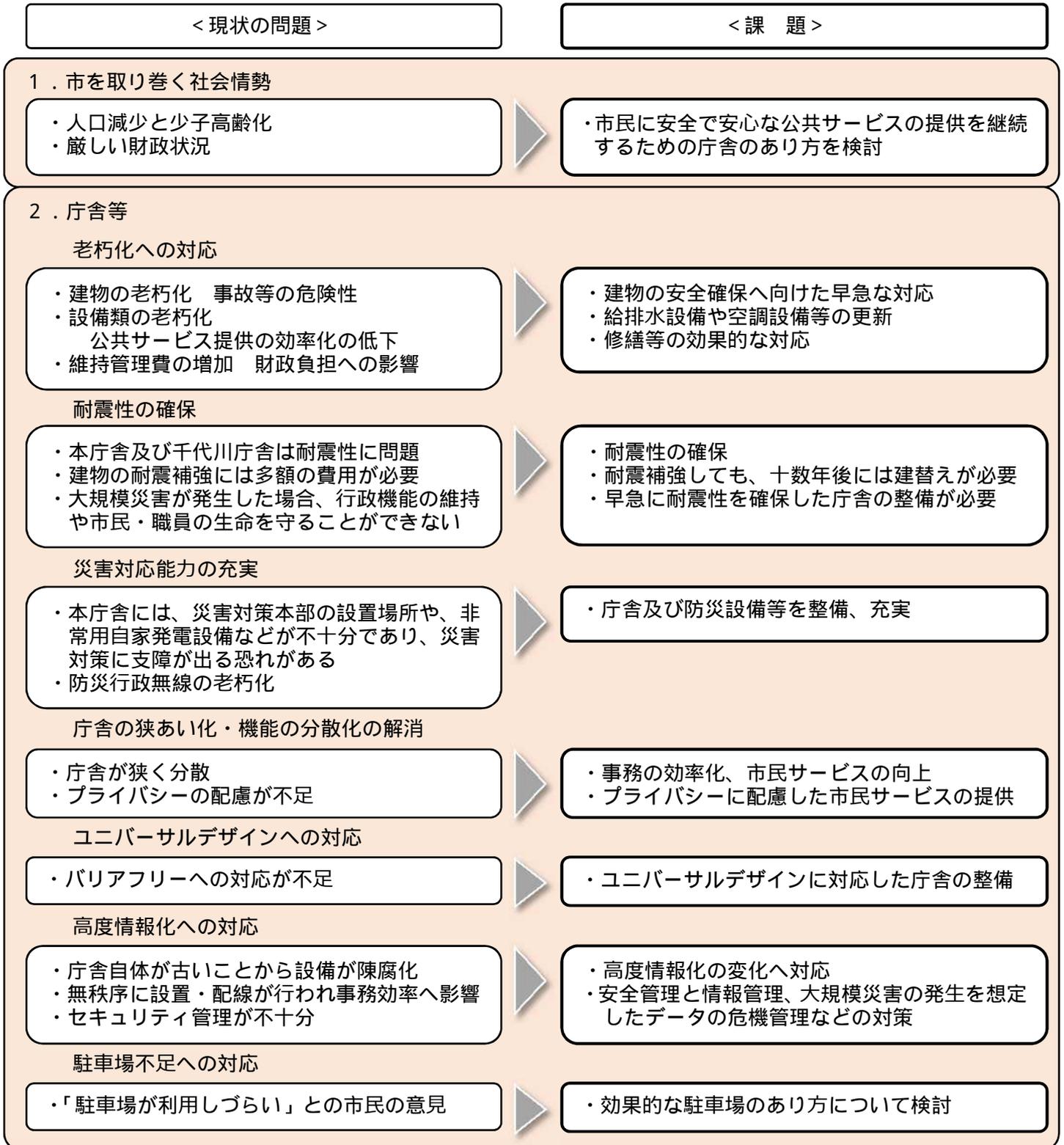
庁舎等建設の検討経緯

主な内容	回数(年月日)
下妻市庁舎建設推進本部会議	第4回(H29.5.16) 第5回(H29.8.10) 第6回(H29.11.6) 第7回(H29.11.20) 第8回(H30.1.25)
下妻市役所の庁舎に関する市民アンケート	H29.7.4~H29.7.18
下妻市庁舎建設検討市民会議	第1回(H29.7.18) 第2回(H29.8.3)先進地視察 第3回(H29.8.29)グループワーク 第4回(H29.9.8)グループワーク 臨時回(H29.9.27) 第5回(H29.10.2)



庁舎等建設の課題

庁舎等の現状及び課題は、以下のとおりです。



庁舎等建設の必要性

本庁舎等の課題や多様化する市民ニーズに総合的かつ効率的に対応し、市民サービスの向上と効率的な行政運営、防災拠点を実現するため、新庁舎の早期建設が必要と言えます。

なお、新庁舎の建設には、財政負担を軽減するため、建設費や維持管理費の低減を目指した効率的でシンプルなものとします。

庁舎等建設の基本的な考え方

新庁舎の『基本理念』と『基本方針』を以下のとおり定めます。

基本理念

基本方針

1. 安心した暮らしを支える地域拠点となる庁舎

1 - 1 誰もが快適に利用しやすい庁舎

- ☼ 訪れるすべての人にとって、庁舎へ出入りしやすく、庁内では快適に利用できるようにするため、ユニバーサルデザイン等に配慮した庁舎をつくります。

1 - 2 効率的で利便性の高いサービスを提供する庁舎

- ☼ 利用者が満足するサービスを提供するため、利用者の視点による利便性を向上するとともに、事務効率を最適化できる庁舎をつくります。

1 - 3 市民が集いにぎわいを創出する庁舎

- ☼ 良質な地域拠点とするため、人々が集まる交流の場、集まった人々の憩いの場を提供する空間を有することで、庁舎ににぎわいを創出します。

2. 安全な暮らしを提供する防災拠点となる庁舎

2 - 1 災害に強く安全な庁舎

- ☼ 地震や水害等の大規模災害において市民の生命と財産を守るため、耐震性や非常時電源を確保した庁舎をつくります。

2 - 2 災害発生時の指令や情報を発信する庁舎

- ☼ 災害対策活動を早急かつ円滑に行うため、災害対策本部の活動に関する機能を集約した庁舎をつくります。

2 - 3 情報等のセキュリティを強化した庁舎

- ☼ 庁舎内の安全を確実にするとともに、市民の個人情報等の漏洩を防止するため、各種セキュリティ機能を強化した庁舎をつくります。

3. 財政負担を軽減する効率的でシンプルな庁舎

3 - 1 将来の市民ニーズの変化に対応する庁舎

- ☼ 市民ニーズや社会情勢等の変化に伴うサービスの提供内容や提供方法に柔軟に対応していくため、極力自由な空間構成とした庁舎をつくります。

3 - 2 ライフサイクルコストを重視する庁舎

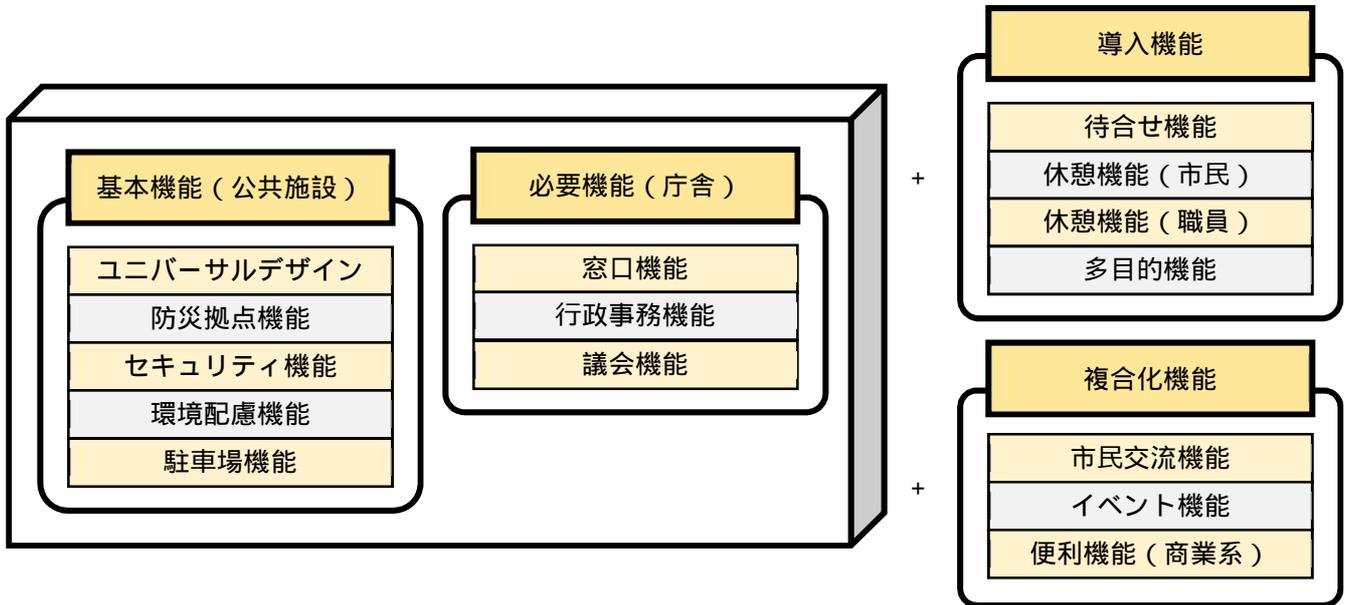
- ☼ 長期間の使用を考慮するため、維持管理や改修等を見据えたライフサイクルコストを抑制する庁舎をつくります。

3 - 3 環境にやさしい庁舎

- ☼ 豊かな自然を守るため、自然エネルギーの活用や省エネルギー設備の導入等、環境に配慮した庁舎をつくります。

新庁舎が備えておくべき機能

庁舎が備えておくべき機能には、公共施設としての「基本機能」と庁舎としての「必要機能」に加えて、庁舎を地域拠点とするために市民が要求する「導入機能」、市民の利便性と公共施設の効率性を向上するための「複合化機能」の4種類があります。これらの機能を軸に、使いやすい庁舎を目指していきます。



庁舎の規模

現在の職員数を基に庁舎の想定規模を算定した結果、現時点では庁舎面積は7,000㎡程度を想定しています。

事業スケジュール

庁舎等建設の事業スケジュールは、採用する事業手法によって前後することがありますが、以下のスケジュールを目標に進めてまいります。

項目	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
基本構想	■							
基本計画		■						
基本設計			■					
実施設計				■				
建設工事					■	■	■	■
供用開始								▶ 予定

●問合せ先

下妻市 総務部 財政課 施設経営係 庁舎等建設担当
 〒304-8501 下妻市本城町二丁目2番地
 電話：0296-43-2235（直通） FAX：0296-43-4214